

令和2年度さくらの里事業報告

令和3年5月15日

1 事業概要

住所
事業種類

横須賀市小矢部4-19-4

①介護保険指定通所介護事業・予防通所介護事業(第二種社会福祉事業)
②介護保険指定訪問介護事業・予防訪問介護事業(第二種社会福祉事業)
③介護保険指定居宅介護支援事業(公益事業)・介護予防プラン作成受託
令和2年4月1日～令和3年3月31日

事業実施期間
運営責任者

センター長 若山加奈江(全国社会福祉協議会施設長資格講習修了)

2 通所介護事業

(1) 事業内容

管理者
休業日

通所介護課長 馬賀清子(介護福祉士)

日曜日

12月30日～1月3日

サービス提供時間

10時～16時(6時間以上7時間未満)

加算体制

入浴・サービス体制強化(Ⅱ)・処遇改善・特定処遇改善

送迎時間

8時30分～10時

16時～17時30分

保険外費用

食事費

昼食1食900円

旅行、趣味活動等

実費

(2) 職員の状況

正職員(4)

令和3年3月31日現在

管理者・課長(1)、主任(1)、介護職員兼相談員(1)

全員が介護福祉士資格所有

栄養士(1)

契約職員(1)

介護職員(1) 介護福祉士・歯科衛生士

非常勤職員(21)

介護職員(11)、看護師(3)、調理職員(4)、運転手(3)

令和2年度の正職員退職

0名

単位:人

(3) 運営実績

別紙参照

(4) 保有設備

車椅子型機械式浴槽(1)、寝たきり型機械式浴槽(1)

(5) 所有車両

車椅子リフト車(1)、ワゴン車(1)、車椅子スロープ付き軽自動車(3)

軽自動車(3)、電気自動車(1) 計9台

マイクロバス、15人乗り車両、10人乗りリフト車を売却

軽自動車2台を購入

(4) 特別活動

① 外出行事

なし

② 施設内趣味活動

有料手工芸活動(さくらクラフト) 毎月1種類実施。参加者50名前後

有料クラブ活動 1種類 バッチワーク

無料クラブ活動 なし 合唱倶楽部を中止

内部行事 夏祭り、夏フェス、運動会、文化祭、節分、敬老会等

通常内部活動 カラオケは中断

(5) 職員研修

① 内部研修

対面式の会議、研修は全面的に中止

研修は資料配布とレポート形式で実施

② 外部研修

外部研修参加は全面的に中止

(6) 地域交流・社会貢献

地域交流行事は全面中止

(7) 感染対策

令和2年10月より、実質定員を30名に削減(登録は35名)

発熱時の利用中止、利用中のマスク着用を徹底

送迎時、お客様自宅で検温実施。

補助金で一人用テーブル購入。一人一テーブル体制とする。

大人数の送迎を中止。大型車両を売却し軽自動車購入。

職員は常時サージカルマスク着用

5人以上の職員が集まる飲食禁止

職員の昼食は一人ずつとる体制

(8) まとめ

上半期は、在宅高齢者のデイサービス利用控えがあり、

大幅に利用が減少した。

下半期は一定の回復をした。世の中がコロナに慣れ、

利用控えが減少しただけでなく、本施設での感染防止の

取り組みが評価された影響もあると思われる。

3 訪問介護事業

(1) 事業内容

介護保険指定訪問介護事業・介護予防訪問介護事業
支援費制度指定居宅介護事業

高齢者の自宅を訪問して介護
身体障害者、知的障害者が対象

管理者 訪問介護部門主任 岸はる美(介護福祉士)

休業日 日曜日、12月30日～1月3日 休業中も必要によりサービスは提供

サービス提供時間 原則は24時間サービス提供。概ね7時～20時

窓口営業時間 月～金、8:30～17:30

(2) 職員の状況 令和3年3月31日現在

正職員(2) 管理者兼サービス提供責任者・副主任(1)※介護福祉士
事務職員(1) 居宅介護支援事業事務を兼務

非常勤職員(7) 週4日フルタイム非常勤介護職員(1)
契約型訪問介護員(1)、登録型訪問介護員(5)

令和2年度退職者 管理者が退職。

(3) 運営実績 別紙参照

サービス提供責任者1名体制に変更したため、サービス提供時間数は減少

(4) 職員研修 対面式会議、研修は中止

書類提出に来るヘルパーと個別に研修

(5) 地域交流・社会貢献 地域交流行事は中止

(6) 感染対策 利用者が発熱した場合、発熱の2日前までにサービスに入ったヘルパーは
休みとする。利用者の状況を見て、出勤再開を決める。

サービス提供時、職員はサージカルマスク着用。必要によりフェイスシールド着用
お客様にもマスク着用を呼びかけているが、徹底は困難。

(7) まとめ 体制変更で事業規模は縮小したが、小規模で効率よい運営体制となる。
同じ施設のケアマネジャーからの依頼を中心にサービス提供する体制

4 居宅介護支援事業

(1) 事業内容

介護保険指定居宅介護支援事業 要介護状態の高齢者のケアプラン作成

介護予防プランの作成業務受託

管理者 居宅支援部門主任 神田恵美子(ケアマネジャー、歯科衛生士)

休業日 土日、祝日、12月29日～1月3日

営業時間 8時30分～17時30分

(2) 職員の状況 令和3年3月31日現在

正職員(3) ケアマネジャー(2) 1名は管理者兼務
事務職員(1) 訪問介護事業事務を兼務

契約職員(2) ケアマネジャー(2)

非常勤職員(1) ケアマネジャー(1)

令和2年度退職者 契約常勤ケアマネジャー1名が退職

(3) サービス実績 別紙参照

ケアマネジャーが減少したため、ケアプランを受けられる定数が減少。

実績数は減少したが、稼働率は最高水準を維持。

(4) 職員研修 対面式研修は全面的に中止中。

外部研修参加も原則中止。

(5) 地域交流・社会貢献 地域交流行事は全面中止

(6) 感染対策 訪問時に職員はサージカルマスク着用。必要によりフェイスシールド着用。
お客様にもマスク着用を呼びかけるが徹底は困難。

職員が食事をする際は、時間と場所を分けて1人で食べる体制をとる。

補助金により換気機能付きエアコンに買い替え。

(7) まとめ ケアマネジャーの退職により、規模を縮小した。
サービス提供強化体制加算が算定できるぎりぎりの規模であるので、
経営効率は上昇している。この体制維持が課題。

さくらの家令和2年度事業報告

令和3年5月14日

- (1) 事業概要
- ① 事業種類 認知症対応型共同生活介護事業(高齢者グループホーム)
介護予防認知症対応型共同生活介護事業(グループホーム)
 - ② 事業者番号 一番館:1471900694、二番館:1471901411、三番館:1471902963
 - ③ 住所 一番館:小矢部4-17-4、二番館:小矢部4-15-8
三番館:小矢部4-15-7
 - ④ 事業体制 一番館1ユニット
二番館2ユニット、三番館2ユニット
 - ④ 定員 一番館:8名、二番館18名、三番館18名
 - ⑤ 加算体制 医療連携体制加算、サービス提供体制強化加算(Ⅲ)、処遇改善加算(Ⅰ)
- (2) 事業実施期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日
- (3) 利用実績 別紙参照
- (4) 職員の状況(令和3年3月31日現在)
- さくらの家共通(高齢者グループホーム運営部)
- 非常勤看護師(1)
- 一番館
- 管理者 星野哲也(介護福祉士・ケアマネジャー)
 - 正職員(1) 介護職員
 - 非常勤介護職員(6)
 - 令和2年度の正職員退職者 0名
- 二番館
- 管理者 中川信幸(介護福祉士・ケアマネジャー・社会福祉士)
 - フロア責任者(管理者) 廣羽幸樹(介護福祉士)
 - 正職員(3) 介護職員 うち2名介護福祉士
 - 非常勤介護職員(12)
 - 令和2年度の正職員退職者 0名
- 三番館
- 管理者 斎藤かがり(介護福祉士)
 - フロア責任者(管理者) 土師良介(介護福祉士)
 - 正職員(2) 介護職員 うち2名介護福祉士
 - 非常勤介護職員(15)
 - 令和2年度の正職員退職者 1名
- (6) 職員研修
- 内部研修 さくらの家全体の対面式研修は中止
各フロアごとに会議兼研修を実施
 - 外部研修 外部の対面式研修参加は原則中止
- (7) 行事
- 地域交流行事は中止
- 防災訓練はフロアごとに実施
- 外出行事はフロアごとのドライブ以外は全面中止
- (8) 感染対策
- 面会は感染リスクが高い時期は中止。
- 7月、8月、11月～3月は、完全予約制、家族人数2名以内で、
玄関外で距離を置いての面会実施。
補助金で各館にWi-Fi整備。iPad購入。
オンライン面会の準備中。
- (8) まとめ
- 感染対策で、外出行事も、さくらの家全体での大型行事も、
地域交流行事も中止とした。
各フロア内部での行事やレクリエーションに工夫を凝らし、
新しいレクリエーション体系を構築している。
ブログでの情報発信に力を入れている。

さくらの里山科令和2年度事業報告

令和3年5月14日

(1) 事業概要

- ①事業種類 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)・ユニット型
短期入所生活介護事業(ショートステイ・介護予防含む)・ユニット型
- ②事業者番号 1471904613
- ③住所 横須賀市太田和5-86-1
- ④定員 特別養護老人ホーム 100人(100室・10ユニット)
ショートステイ 20人(20室・2ユニット)
- ⑤基本加算体制 看護職員体制加算Ⅰ、個別機能訓練加算、栄養マネジメント加算
処遇改善加算Ⅰ、特定処遇改善加算、日常生活継続支援加算、

(2) 事業実施期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(3) 運営実績

別紙参照

特養は一定の向上をしているが、コロナ禍のためショートステイは減少

(4) 職員の状況(令和3年3月31日現在)

①在籍職員

施設長(管理者)	若山三千彦(社会福祉士、ケアマネジャー)
副施設長(ショート長、ユニット長兼務)	加藤あゆ美(旧姓長嶋、介護福祉士、社会福祉士、ケアマネジャー)
特養ブロック長(主任)	5名 ※全員介護福祉士、1名は係長
特養ユニット長(副主任)	5名
ショートユニット長(副主任)	1名
ショート相談員(係長)	1名
特養相談員兼ケアマネジャー(係長)	1名
特養相談員兼ケアマネジャー	1名
作業療法士(主任)	1名
管理栄養士(副主任)	1名

	主任	副主任	正職員	契約	パート非常勤	派遣	障害者雇用
特養介護職	5	5	18	8	27	0	
ショート介護職	0	1	4	1	10		
看護職	1	1		1	4		
調理職員	1		2	1	7		
管理栄養士		1					
事務			1		4		
運転・管理			1		2		
託児室					6		
清掃・洗濯					3		4
合計	7	8	26	11	63	0	4

※ 障害者雇用職員は、非常勤、週35時間勤務、社保加入

②退職職員(正職員)

正職員 2名

(5) 職員研修

内部研修 ホーム全体の対面式研修は中止
ユニットごとの会議兼研修を、下半期に隔月実施

外部研修 対面式の外部研修参加は原則中止

(6) 社会貢献活動

(7) 家族交流行事

(8) 感染対策

地域交流行事は全面的に中止
家族交流行事は中止
ショートステイは、4月の緊急事態宣言中は、不要不急の利用自粛を呼びかけ
外出行事、ホーム全体の行事は全面中止
ボランティア受け入れ中止。
緊急事態宣言中は、歯科往診や訪問マッサージ等の外部業者受け入れも中止
食料品等の業者配達は1階までとし、2階以上への配達は職員が行う。
部署ごとの宴会禁止、職員5人以上での飲食禁止
面会を中止。ユニットへは職員と医師以外の立ち入りをほぼなくす。
12月から、1階地域交流室で15分のみ、完全予約制、家族2名限定の
完全予約制面会を実施。1月までで終了。
2月からは、窓越し面会に切り替える。
補助金でWi-Fi工事実施、iPad導入。オンライン面会の準備中
玄関に、アルコールの自動噴霧装置を設置。

(9) まとめ

正職員の不足は解決。令和元年度から3年間連続で新卒職員を2名以上確保。
特養では、退去者数と新規入居者数がほぼ同数であるため、
稼働率が向上しなかったが、2月に一時的に100%に達する。
ショートステイは、未だにコロナの影響による利用控えが続いている。

令和 2 年度あすなろ学苑事業報告書

令和 3 年 6 月 1 日

(1)利用者支援

①施設の稼働日数は 266 日であった。

苑生の利用定数は 6466 日、利用実績は 6323 日、出勤率 97.8%であった。

また、苑生 2 名が生活介護事業所に移動をした。

コロナウィルス蔓延の状況下においても、苑生達は毎日元気に通苑してくれ、稼働率は前年同様の良好の状態を維持する事ができた。

(他法人が運営するグループホームに入居する苑生 1 名のみ、その法人が運営する日中活動が休業となり、グループホームメンバー(当該苑生以外は同一法人で日中活動・グループホームを利用)はホーム内に待機するとの事で、緊急事態宣言発令時欠席していた。)

②利用者の余暇活動の充実を図るため、土曜日出勤日を活用し、苑内においてクラブ活動(苑生の強い希望で全て食べ物作りを行った。)やバーベキュー、おでんパーティー等の季節行事を実施した。創立 20 周年記念行事として、9 月に大阪に一泊旅行、2 月にボーリング大会を企画していたが、コロナウィルス蔓延の為中止とした。残念がる苑生の為に、大阪グルメを楽しむランチ会や手巻き寿司パーティーと苑内ボーリング大会を代替イベントとして実施した。

本年度も余暇支援においては、苑生の希望を反映したプログラムを実施している。

③利用者の自主性や権利擁護を促進するため、自治会活動「仲間の会」を結成し 16 年が経過した。仲間の会では、施設の質を自ら向上させるため、テーマに沿って話し合いの場を設けている。苑生の主体的な発言を導いていくため、職員がロールプレーを見せる事や苑生同士でロールプレーをする事も時に交えながら支援をしている。

その成果もあり、他人の意見を批判せず聞く事や自分の意見を人前で恥ずかしがらずに発言できる苑生、仲間の多様性を尊重できる苑生も増し特に外出行事決めや食事パーティー等の内容決めにおいては自由闊達な意見が呈されるようになってきた。しかし、今年度は加齢の影響なのか、自分の意見がうまくまとめられず、スムーズに言葉に示さない様子や集中力が乏しく会への主体的な参加が難しい苑生や居眠りをする苑生も増しており、グループワークの難しさを感じながら支援を工夫している。

④本年度の利用者に支払う平均工賃目標は月額 30000 円、平均工賃支払実績は月額 11096 円であった。コロナウィルスの影響が授産活動に大打撃を与えた一年であった。

(2)事業運営

①本年度の授産収益は約 1486 万円であった。

②コロナウィルスの蔓延により、一度目の緊急事態宣言が発令された頃には、お取引引きが 8 割減となった。苑長や職員の個人的なネットワークにより、個人や各種団体、企業から受注を仰ぐと共に、法人内他部署に当苑商品を食事やおやつで利用して頂く事、結果に繋がらない事は承知で販路拡大の為に営業努力を重ねたが、加速度的にお取引中断の連絡が相次ぎ、断腸な思いで開苑後初めて苑生に支給する工賃を減額して頂いた。

苑生や施設が各種給付金を受け取られるか調べるものの該当しなかったこと、感染に気をつけながら毎日出勤してくれる苑生に少しでも報いたいと、「食べて応援」をコンセプトにしたクラウドファンディングに挑戦した。

5 月 25 日～6 月 30 日までの 1 ヶ月強をプロジェクト期間とし、計 296 名、345 万円の支援が集まった。

また、この間新聞各社、テレビ、ラジオ等の取材に積極的に応じ、この他にあすなろ学苑に対する直接寄付が別に 170 万 3000 円寄せられた。

クラウドファンディングの収入から、ファンド会社への手数料、送料等を含む返礼費用を差し引いた額を苑生全員に一律 68801 円分配し、工賃減額の補填として頂いた。

販路は時間の経過と共に戻りつつあるものの、未だ再開できていない販路が存在する。また、今年度はイベントが全て中止になったことで、授産活動は大変な苦境であったが、

法人内各施設において、当苑の焼き菓子やパンを食事やおやつに定期的に注文して下さったこと、苑生のご家族が経営する動物病院にて定期的な購入、職員の人脉で企業や個人のお客様が直接購入して下さったこと、あすなろプレミアム商品券(1000 円に対し 20%増しの金券)の発行等創意工夫でリカバリーし、売上は前年比 88.6%の結果となった。

③横須賀明光高等学校の売店運営を 2008 年より 12 年間受託してきた。

2020 年 4 月より大楠高校と合併し、横須賀南高校としてスタートをきったが、コロナウィルス蔓延の為休校が続き、売店事業がスタートしたのは 7 月であった。

今年度から販売品目がパン・お弁当等に限定された為、売上は減少している。

また、学校の指示で販売方法やルールも若干変更したが、円滑に運営する事ができている。

④職員の現状

就労継続支援 B 型事業所の配置基準は満たしているが、加齢に伴う苑生の支援度が増している事及び授産活動を維持するためには、職員の増員が必要不可欠である。職員の確保は福祉業界全体で深刻さを増しているが、当苑も職員の確保に大変苦慮している。

様々な媒体を使用して求人活動を行うものの、応募のない状況が続いていたが、コロナ渦の中で以前に比べ求人数が伸び、2 名職員を充足する事ができた。しかし、年度末転勤で退職をした職員、近い将来定年を迎える職員がいる為、引き続き職員の確保は必要不可欠である。

職員の定着率は良く、非常勤職員のスキルとチームワークが年々向上し、苑運営において大きな戦力となっている。

⑤苑生の加齢重度化に伴う作業種転換に関して

苑生の多くが 50 代前後となり、加齢により心身の状況が低迷している。

現在行っている食品製造作業が難しくなっている苑生も増してきており、数年前より苑生の心身状況を鑑みた福祉サービスへの転換を論議してきた。

法人内部、保護者との論議の末、法人内の特別養護老人ホームさくらの里山科で使用しているタオルの洗濯業務をあすなろ学苑が受託し、主作業を食品から非食品作業に転換する事が決定した。

令和 4 年 4 月開始目標とし、令和 3 年晩秋より工事、設備投資、備品購入、試運転の準備を進めていく予定でいたが、令和 3 年 2 月に補助金で洗濯機 3 台が助成された事もあり、繰り上げ実施することになった。

令和 3 年度においては、食品製造作業と並行しながら一部洗濯事業を導入し、令和 3 年 10 月までにさくらの里山科が業者に委託している全量の洗濯に対応できるように徐々に準備を進めていく。また、苑生の動線を考え、現在のデザート製作室を廃業し、新たに洗濯作業室に位置付け、電気、排水工事を実施した。

作業種の転換により工賃は大幅に激減するが、苑生も保護者も承認して下さり、苑生達が主体的に参加しやすい作業を確立する事で仕事へのやりがい、達成感を維持していく。

以上

あすなろの家平成令和2年度事業報告

令和3年5月14日

(1) 事業実施期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日

第1・第2あすなろの家は休業日無し

第3・第5・第6・第7・第8あすなろの家は、金曜日～日曜日及び祝日とその前日は休業

第3は、あすなろ学苑の土曜日出勤の前日の運営をしている。

第5は、入居者1名が家族がいないため、必要に応じて日曜日も運営した。

(2) 事業概要

①事業種類 障害者総合支援法指定共同生活援助事業(グループホーム)

7ユニット(共同生活住居)を運営

②住所

事業所代表住所: 横須賀市小矢部4-18-11

第1あすなろの家(共同生活住居①)

横須賀市小矢部4-13-2

第2あすなろの家(共同生活住居②)

横須賀市小矢部4-18-11

第3あすなろの家(共同生活住居③)

横須賀市武4-8-5山田ハイツB

第5あすなろの家(共同生活住居④)

横須賀市若宮台24-15

第6あすなろの家(共同生活住居⑤)

横須賀市平作2-24-5第5のぞみハイツ

第7あすなろの家(共同生活住居⑥)

横須賀市武2-13-19

第8あすなろの家(共同生活住居⑦)

横須賀市太田和5-90

③定員・入居者数(令和3年3月31日現在)

全体定員35名、入居者35名

第1あすなろの家 定員8名、入居8名

第2あすなろの家 定員6名、入居6名

第3あすなろの家 定員4名、入居4名

第5あすなろの家 定員4名、入居4名

第6あすなろの家 定員4名、入居4名

第7あすなろの家 定員4名、入居4名

第8あすなろの家 定員5名、入居5名

(3) 入退居の状況

令和2年度退去者0名、入居者0名

運営実績は別紙参照。

(4) 職員の状況(令和3年3月31日現在)

管理者 吉岡和子(サービス管理責任者と相談員を兼務)

サービス管理責任者 岡本みゆき

正職員・相談員兼世話人(3)

非常勤職員・世話人(16)

(5) 職員研修

対面式研修は中止。世話人個別に研修を行う。

(6) 感染対策

職員、入居者のサージカルマスク着用。

入居者全員の毎日の検温と記録を実施。

第一・第二あすなろの家は、できるだけ食事時間をずらす。

入居者が外部で自由に行動する時間が長く、その際の感染予防を徹底

することが困難であり、感染対策上は非常にリスクが大きいと言える

入居者にマスク着用、手洗い、手指消毒を、外部でも徹底するよう

根気よく指導を繰り返している。

法人本部令和2年度事業報告

令和3年5月14日

(1) 運営体制

土日祝日休業、12月29日～1月3日休業

(2) 職員の状況(令和3年3月31日現在)

事務長 若山加奈江(さくらの里センター長と兼務、全社協施設長資格研修修了)

正職員(4)

(3) 事業内容

法人全体及び各施設・事業の経理、労務、職員福利厚生

介護保険請求、利用料請求

在庫管理、物品購入、各種メンテナンス

給与明細のweb化を実施

(4) 設備

ファイルサーバー(1)、大型プリンター(2)、折り機(1)、コピー機(1)、軽自動車(1)

(5) 感染対策

職員の慰労金、感染対策設備・備品購入の補助金、職員PCR検査等、

普段は行わに行政手続きが大量にあり、対応に追われたが、全て遂行できた。

サージカルマスク、消毒用アルコール、使い捨て手袋が入手困難な時期もあった。

一時的にマスクについて職員の自己所有マスクをお願いする事態はあったが、

それ以外は必要な衛生物品を法人全部署に供給することができた。

3月末時点で、クラスターが発生して大量の衛生物品が必要となっても供給できる在庫量をもっている。

(5) まとめ

職員名簿、労働契約書の一元管理システムがある程度出来上がった。
書類の電子化、電子決済システム導入、業務のオンライン化が課題。
古い書類の整理と破棄が次年度の課題である。

以上

衣笠障害者相談サポートセンター相談室あすなろ・令和２年度事業報告書

1. 事業所設置場所 横須賀市公郷町２丁目７の１９（一色ビル）
2. 事業種類 障害者総合支援法指定特定相談・指定一般相談事業所 1431900875
児童福祉法指定障害児相談事業 1431900875
横須賀市委託 障害者相談サポートセンター事業
3. 対象地域 横須賀市及び三浦市
4. 事業期間 令和２年４月１日～令和３年３月３１日
5. 営業体制 毎週月曜日から土曜日までの週６日間営業
午前９時から午後５時まで営業
２４時間３６５日のオンコール（電話相談受付）体制
6. 休業日 日曜日、祝祭日、年末年始
7. 職員の状況 室長１名（管理者、相談員兼務） 岸川江利子
正職員１名（相談員） 林奈穂子
契約常勤職員１名（相談員） 齋藤千夏
8. 事業内容
 - (1) 相談支援事業
主として知的障害児者及び精神障害者（発達障害者含む）、身体障害児者の相談支援を実施
 - (2) 計画相談事業
障害者総合支援法及び児童福祉法にかかる計画相談（指定特定相談・指定障害児相談）におけるサービス等利用計画の作成及びモニタリングを実施する。
 - (3) 専門相談事業
横須賀市内の知的障害者関係事業所の各相談支援職員の派遣を求めて次の専門相談を実施
・在宅支援専門相談：随時（週１～２回半日程度） 海風会、清光会、みなと舎の予定
 - (4) 研修事業
相談支援従事者への研修を実施
 - (5) 横須賀市内における相談支援事業体制準備事業
委託相談による相談者の扱いや計画相談作成利用者の対応（他事業所への引き継ぎ含む）を行うと共に委託相談業務に関連した行政やその他機関との連携を行った。
 - (6) 当事者グループ支援及び居場所支援
当事者からボランティアをしたいという要望に応え、地域の掃除（ゴミ拾い等）を月１回程度実施。ひきこもりや発達障害者を主な対象とした。
9. 当所が主催する会議の開催
 - (1) ケース事務連絡会議 毎月第３金曜日を除いた金曜日の午前中
当所の事務に関する事や個別事例の進行管理について協議した。
10. 関係外部会議 委員等として出席を要する会議
 - (1) 横須賀障害とくらしの支援協議会関係
横須賀市障害者相談サポートセンター受託者として出席
 - ① 全体会年２回
 - ② 実務者調整会議（運営会議）隔月開催
 - ③ 個別支援調整会議
 - ④ こども支援会議
 - ⑤ くらしを支える連絡会
 - ⑥ 相談支援連絡会・情報交換会
 - ⑦ 課題解決プロジェクト（短期入所連絡会）隔月開催

- (2) 横須賀・三浦障害保健福祉圏域相談支援等ネットワーク形成事業関係
 - ① 横須賀・三浦障害保健福祉圏域ネットワーク形成事業全体会年2回
 - ② 横須賀・三浦障害保健福祉圏域ネットワーク形成事業運営委員会年間2回程度
- (3) その他
 - ① 地域生活支援拠点事業 年3回程度
 - ② 横須賀市入所等検討会議 不定期

11. 感染対策

緊急事態宣言中は、職員は在宅勤務と有給休暇を交代でとり、職員3名が全員出勤する日をほぼなしにした。また、相談面接のための訪問も、当事者が相談室に来ることもできる限り制限して、最低限に絞った。訪問や相談面談の実施前後の消毒を徹底した。

1階のエアコンが老朽化して買い替えが必要だったため、神奈川県補助金を利用して、換気機能付きのエアコンに買い替えた。

当事者には、マスク着用と手洗い、手指消毒の必要性を啓発した。

12. 総括

本報告書には基本的な事業内容をまとめたが、実際には職員の出勤削減や、他施設、関係機関との直接交流の削減のため、実施回数は大幅に減っている。全く実施できない時期もあった。自宅で孤立している当事者には、電話連絡によりできる限りコミュニケーションを維持しようとしたが、限界があった。十分な支援を得られなかった当事者たちのこれからの生活の変化が懸念される。コロナ禍が一定の終息をした後、新たな相談支援のネットワークを構築し、当事者たちの生活の立て直しをサポートしなければいけないと考えている。

以上

三輪医院令和2年度事業報告

令和2年5月29日

(1) 事業概要

- | | |
|-------|---|
| ①事業種類 | 診療所 |
| ②診療科目 | 内科、リウマチ科、小児科 |
| ③住所 | 横須賀市鶴が丘2-3-2 |
| ④実施事業 | 医療保険診療所事業
医療保険診療所型訪問看護事業
介護保険居宅療養管理指導事業
介護保険／医療保険みなし訪問看護事業
介護保険／医療保険みなし訪問リハ事業
介護保険ケアマネジャー事業
相談支援事業(保険外) |

(2) 事業実施期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(3) 営業日

- | | |
|------|--|
| 外来 | 月・金の午前・午後
火・水・木・土の午前
第2第4木の午後にリウマチ外来 |
| 訪問診療 | 月～木の午後、金曜日の午前・午後。土曜日の午前 |

(4) 医療設備

レントゲン、超音波、血圧脈波系、呼吸機能検査

(5) 車両

軽自動車4台所有

(6) 事業実績

別紙参照

(7) 職員の状況(令和3年3月31日現在)

- | | | |
|---------|-------|----|
| 院長 | 千場純医師 | |
| 医師 | 非常勤医師 | 4名 |
| 看護師 | 正職員 | 1名 |
| | 契約職員 | 1名 |
| | 非常勤職員 | 4名 |
| 臨床検査技師 | 契約職員 | 1名 |
| 事務職員 | 正職員 | 4名 |
| | 非常勤職員 | 2名 |
| 管理栄養士 | 非常勤職員 | 1名 |
| 理学療法士 | 正職員 | 1名 |
| ケアマネジャー | 正職員 | 1名 |
| その他 | 非常勤職員 | 2名 |

(8) 新型コロナウイルスの影響・対応

4月～5月は、患者数が大幅に減少したが、その後回復した。
外来患者には院内に入る前に必ずインターフォンにて体調を伝えるよう依頼。院内感染を予防している。
補助金を活用し、発熱等、新型コロナウイルスが疑われる患者が待機するテントスペースを設立。その場所で医師が1人に対応することにより、院内感染のリスクを低減した。
新型コロナウイルスの情報に関する文書を、町内会に回覧依頼する等、地域の感染予防に協力している。

令和2年度事業報告資料:各部署運営実績データ

さくらの里デイ(利用人数)

R2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
利用実績	692	654	684	665	631	657	652	624	652	609	638	730	7888
稼働率	76.0%	71.9%	75.2%	70.4%	69.3%	72.2%	83.6%	80.0%	86.9%	84.6%	88.6%	90.1%	78.4%

さくらの里ヘルパー(利用時間数)

R2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
介護保険	404.5	411.5	415.5	361.5	293.5	280.5	278.5	250.5	260.5	228	230	264.5	3679
障害	64.5	95	83.5	106	72.5	120	115	93	91.5	73	98.5	93	1105.5
有償	11.5	5	9	10	9	9	10	9	7	6.5	8	6	100

さくらの里ケアマネ(利用人数)

要介護ケアプラン定数

178

R2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
利用実績	172	175	170	177	172	176	185	184	174	163	166	166	2080
稼働率	103.4%	98.3%	95.5%	99.4%	96.6%	98.9%	103.9%	103.4%	97.8%	101.2%	103.1%	103.1%	99.8%
要支援	10	14	14	11	10	10	10	10	8	7	7	7	118

さくらの家一番館(利用人数)

R2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
利用実績	232	248	240	248	248	240	248	240	248	248	224	248	2912
稼働率	96.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.7%

さくらの家二番館(利用人数)

R2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
利用実績	540	540	514	547	558	540	558	540	542	550	504	558	6491
稼働率	100.0%	96.8%	95.2%	98.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.1%	98.6%	100.0%	100.0%	98.8%

さくらの家三番館(利用人数)

R2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
利用実績	540	558	540	558	558	540	558	540	557	513	496	540	6498
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.8%	91.9%	98.4%	96.8%	98.9%

さくらの里山科特養(利用人数)

R2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
利用実績	2770	2900	2865	2879	2874	2708	2877	2767	2884	2981	2702	3063	34270
稼働率	92.3%	93.5%	95.5%	92.9%	92.7%	90.3%	92.8%	92.2%	93.0%	96.2%	96.5%	98.8%	93.9%

さくらの里山科ショート(利用人数)

R2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
利用実績	385	371	416	441	434	435	497	469	495	496	457	475	5371
稼働率	64.2%	59.8%	69.3%	71.1%	70.0%	72.5%	80.2%	78.2%	79.8%	80.0%	81.6%	76.6%	73.6%

あすなろ学苑

R2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
利用実績	534	549	550	565	488	535	556	516	545	513	449	523	6323
稼働率	97.1%	95.5%	98.7%	98.3%	97.6%	97.3%	96.7%	97.7%	98.7%	97.0%	97.6%	98.9%	97.8%

あすなろの家

※一部の単位が金土日祝休みのため、稼働率は85%がほぼマックス

R2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
利用実績	846	817	883	923	807	878	898	875	861	862	811	846	10307
稼働率	106.0%	115.7%	110.7%	113.7%	102.0%	110.0%	113.5%	112.6%	103.4%	111.9%	111.4%	101.6%	109.2%

三輪医院

R2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
外来患者	458	483	508	532	478	472	499	513	446	375	425	446	5635
内新患	7	9	17	5	6	5	23	14	4	5	7	8	110
訪問患者	291	275	289	286	269	271	278	278	270	258	266	270	3301
内新患	3	3	9	4	6	10	11	4	8	6	8		72
患者数計	749	758	797	818	747	743	777	791	716	633	691	716	8936
内新患	10	12	26	9	6	10	34	4	5	6	15	4	141
外来臨時	1	10	49	32	34	28	45	49(PM1)	39(PM4)	22(PM3)	34(PM6)	(PM14)	
往診(臨)	36	24	35	33	47	25	29	34	45	26	36	27	

R2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
居宅療養医師	152	160	159	154	145	154	159	153	156	153	143	151	1839
居宅療養栄養	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3
介護訪問	23	11	8	7	8	8	10	13	14	8	9	10	129
医療訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10

R2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
訪問リハ	126	111	132	120	102	118	124	119	118	104	117	132	1423
目標達成率	158%	139%	165%	150%	128%	148%	155%	149%	148%	130%	146%	165%	147%

R2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
ケアマネ	29	29	26	25	23	28	28	25	28	24	27	26	318
稼働率	82.86%	83%	74%	71.4%	65.7%	80%	80.0%	71.4%	80%	69%	77%	74%	75.7%
新規	2	2	1	3	1	4	1	0	0	3	2	2	21